全通研学習書（書道Ⅰ）
改訂に向けた取組について

令和２年８月24日

全通研　学習書改訂委員会
広島県立東高等学校
児玉　優美

自己紹介

- 広島県立東高等学校　芸術科書道
- 全通研　学習書改訂委員会　委員

発表の内容

１　学習書試作とその形成的評価
２　試作の具体①～③
３　まとめ

Ⅰ．学習書試作とその形成的評価

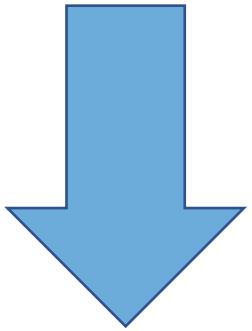
- 期間　１３日間

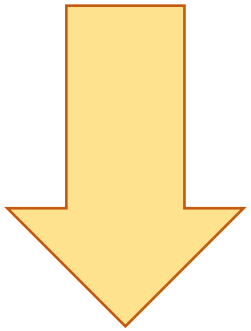
- 参考文献　鈴木克明著（２００２）
「教材設計マニュアル」北大路書房

- 使用教材　東京書籍「書道Ⅰ」

対象と目的の明確化

対象と目的





教科書だけでは自学自習ができない生徒

自学自習を支援するため

「特に書道が苦手な生徒を思いながら試作してみてください」

「苦手な生徒がこの文章で理解できますか？」

２．試作の具体①

（一部抜粋）

1．書写の確認　【漢字仮名交じりの書】

学習目標

① 漢字と仮名の調和を理解し、紙面に対してバランスよく文字を配置できる。

② 漢字仮名交じりの書を楷書と行書で書くことができる。

（一）漢字仮名交じりの書とは

普段、私たちは漢字と仮名の交じった文章を書いています。この文章を漢字仮名交じりと言います。それらの歌や詩・文章などを素材にして書いた書を「漢字仮名交じりの書」と言います。

高等学校芸術科書道では、漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書を学習します。

＜before＞

そこで！！

（一部抜粋）

1．書写の確認　【漢字仮名交じりの書】

学習目標

① 漢字と仮名の調和を理解し、紙面に対してバランスよく文字を配置できる。

② 漢字仮名交じりの書を楷書と行書で書くことができる。

（一）漢字仮名交じりの書とは

A．川宇之无世以己宇己宇部与宇己曽

B．つうしんせいこうこうへようこそ

C．通信制高校へようこそ

皆さんは普段、文章を書く時、右のA~Cのどのパターンで書きますか？

きっと、Cと答える人が多いのではないでしょうか？

私たちはいつも何気なく漢字と平仮名、もしくは漢字と片仮名が交じった文章を書いています。それらを素材にして書いた書を「漢字仮名交じりの書」と呼びます。

これから皆さんは、漢字の書・仮名の書・漢字仮名交じりの書を学習します。

＜after＞

２．試作の具体②

○書くときのポイント

作品を書く際、文字の配置は印象を大きく左右します。以下のようにならないよう、注意しましょう。

バランスがよくない例

〈漢字と仮名の調和〉
漢字と仮名が同じ大きさのため、調和していない。仮名は漢字よりやや小さめに書こう。

〈余白〉
文字が大き過ぎたため、息苦しい印象を受ける。小さ過ぎてもさみしい作品となる。余白を生かそう。

〈中心線〉
一行目の配置はよいが、二行目は縦・横ともに中心がずれている。名前の中心もそろえよう。

〈チェックリスト〉

□漢字は平仮名よりもやや大きく書いている

□半紙の大きさに対して文字が大きすぎず、余白を生かしている

□半紙の大きさに対して文字が小さくなりすぎていない

□行ごとの中心線をそろえている

□一行目と二行目の横と縦の中心線もそろえている

＜before＞

こちら！！

〈チェックリストを満たしていない例〉

楷書と行書の共通ポイント

共通ポイント①

漢字が平仮名に対して小さすぎる

共通ポイント②

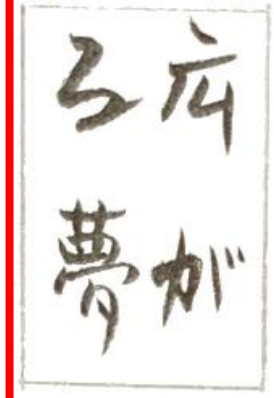
半紙に対して字が大きすぎる

共通ポイント③

文字のバランスはよいが、毛筆の使い方が下手すぎる。

楷書のポイント

楷書のポイント1.



一点一画をていねいに書いていない

楷書のポイント2.

横画の角度が揃っていない

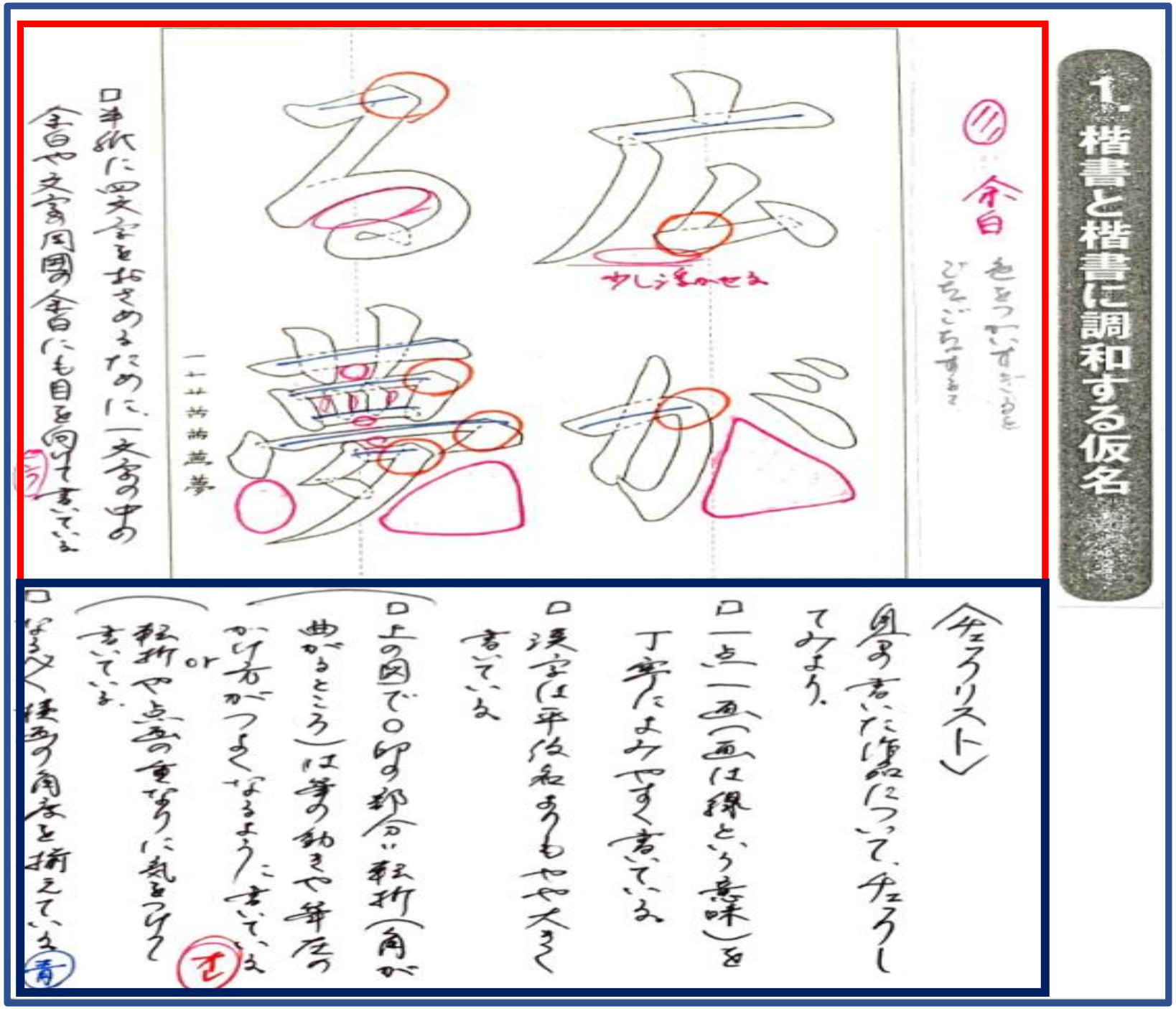
楷書のポイント3

筆の動きがあまり感じられず、筆圧のかけ方も弱い

楷書のポイント4.

平仮名は楷書で書いているが、漢字は行書で書いている

２．試作の具体③


1. 楷書と楷書に調和する仮名
<before>

こちら！！

<after①>

例題（チェックボックス□事前□事後に✓点を入れよう）

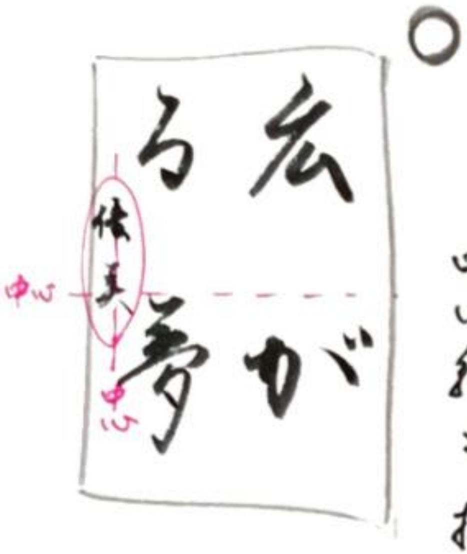
② の内容を頭の中に入れて、自分なりに「広がる夢」を楷書と行書で書いてみよう。

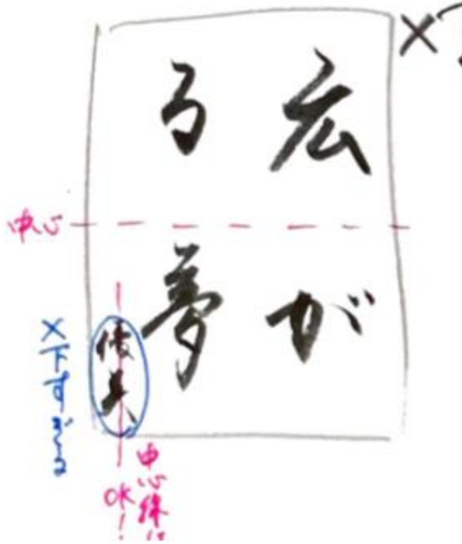
〈ポイント①楷書と行書の共通ポイント〉

1、□事前 □事後 漢字は平仮名よりもやや大きく書く

2、□ □ 半紙に四文字を書くために、一文字の中の余白（よはく）や、文字の周りの余白（よはく）（白い部分）にも目を向けて書いている

3、□ □ 名前は下の名前を書く。書く位置は、半紙の左端の中央部分に書く。中心線も揃えて書く。





<after②>

② 楷書（かいしょ）と行書（ぎょうしょ）の違い

楷書

角ばった印象

行書

やわらかい印象

ポイント

・一点一画（いってんいっかく）（画＝線）をていねいに読みやすく書く

・なるべく横画（おうかく）（横線）の角を揃えている　ピンクの線の部分

・転折（てんせつ）（角のところ）は筆の動きや筆圧のかけ方が強くなるように書く　ブルーの○の部分

ポイント

・全体的に丸みをもたせて書く　ピンクの線の[illegible]の部分

・楷書のように一点一画を切り離さず、次の点画（てんかく）につなげようと書く　ブルーの○

・字の途中で墨をたさず、リズムや速さに気をつけて書く＝筆脈（ひつみゃく）

P121 教

３．まとめ

１．学習書のコンセプト

➡対象と目的の明確化

２．学ぶ楽しさ・分かる喜び

➡レポートの穴埋めのための学習書ではない

３．小さな成功体験の積み重ねを

➡スモールステップで生徒が学習の達成感を感じられるように

４．視覚的なアプローチ

➡説明よりも，図や写真等を活用。生徒の知的好奇心をくすぐり，理解を促す

ご清聴ありがとうございました

これから執筆を一緒に進めてくださる仲間を募集しています！

y-kodamak889652@hiroshima-c.ed.jp

第3回目以降の，学習書研修会へのご参加もお待ちしております。